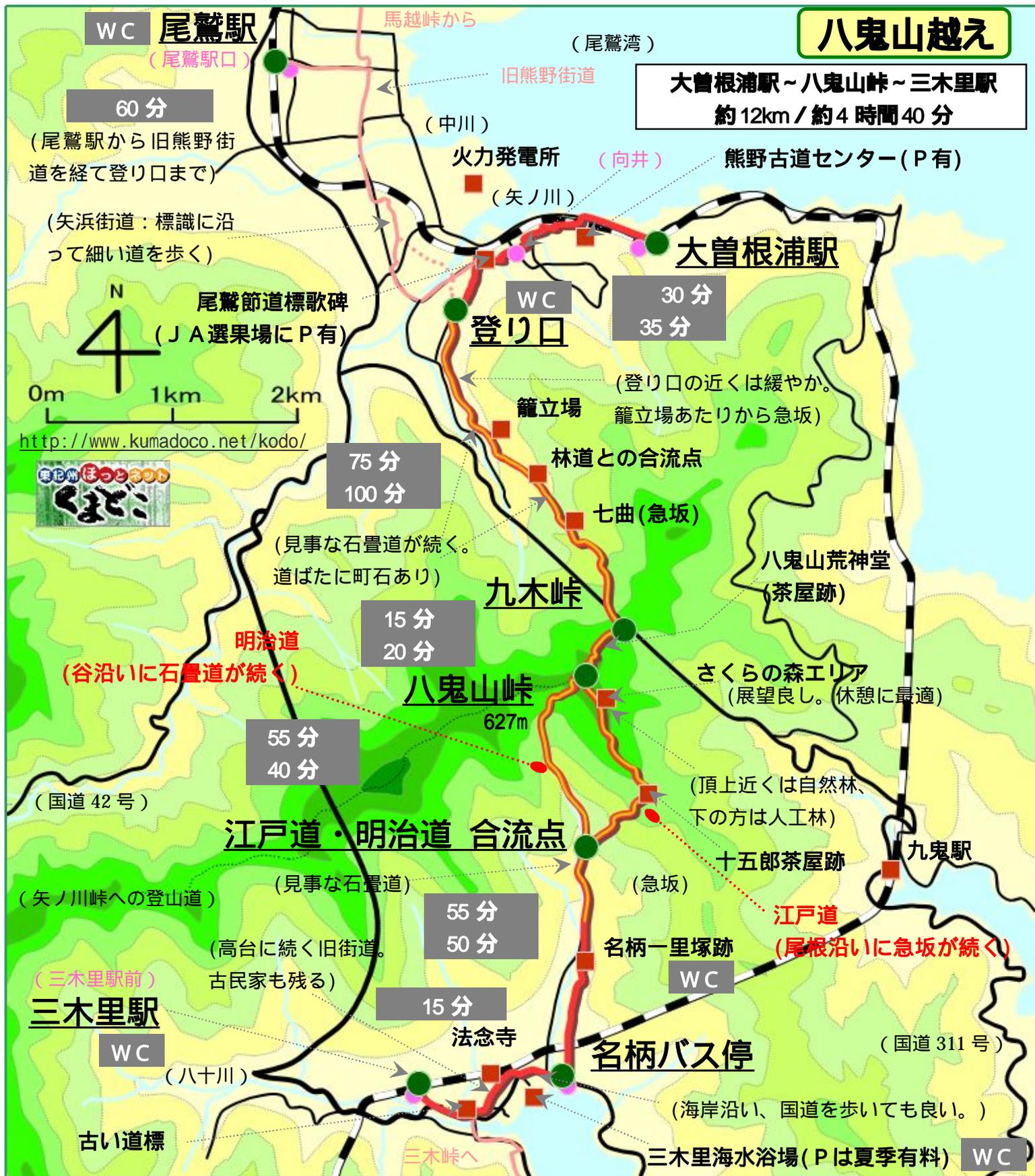


# 八鬼山越え

大曾根浦駅～八鬼山峠～三木里駅  
約12km / 約4時間40分

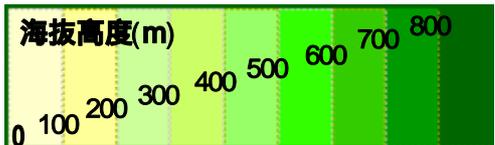


<http://www.kumadoco.net/kodo/>



- 道路
- 線路(J R)
- 歩くルート
- 石畳または未舗装路
- 前後のコース

- 所要時間の基準点  
(ゆっくり歩いた場合の目安です)
- 主な目印
- バス停(文字も)



大曽根浦駅から右手に海を眺めながら歩き、JRの高架をくぐって熊野古道センターを過ぎて直進。尾鷲節道標歌碑と道路標識のある石油タンク横の三叉路から、右手に石油タンクを眺めながら緩やかな上り坂を歩いていくと、間もなく登り口。登り口から石畳道が続いていますが、しばらくは、行倒れになった巡礼者の墓標や石仏の町石が残る平坦な道が続き、籠立て場を越えると林道に合流。籠立て場のあたりから上り坂が急になってきて、林道を越えて間もなく、とりわけ急斜面の七曲（ななまがり）。これを越えた後も、峠まで急坂が何度もあります。

九木峠、八鬼山荒神堂を過ぎれば、八鬼山峠はもうすぐ。八鬼山峠から明治道と江戸道に分かれますが、明治道は歩く人も少なく道が不明瞭になっているかもしれません。江戸道へ進むと間もなく、東屋のある芝生広場「さくらの森エリア」に到着。

江戸道は尾根沿いの急な斜面、常緑照葉樹の自然林の中を、石畳道と土道が交互に続きます。一気に下って平坦になったところが十五郎茶屋跡の東屋、ひと息ついてホッとしたのも束の間、明治道との合流点まで「槍かたげ」と呼ばれる最後の急坂が人工林の中に続きます。

明治道と合流してからは、緩やかな石畳道が人工林の中に続き、沢を渡ったところで舗装路に合流。川沿いに舗装路を歩いていくと名柄一里塚跡、再び石畳道の残る平坦な道を歩き名柄の住宅街に出て、国道311号に合流。目の前には三木里海岸があります。

国道沿いに歩いて川を渡ったところで右手の道へ入って古民家の残る旧街道へ。（三木里海岸を歩いても、この旧街道の雰囲気を楽しんでも、どちらも楽しめます。）八十川橋の手前で右に入ると古い道標があり、そのまま小高い丘にある三木里駅へと至ります。

「西国第一の難所」とその名を知られたとおり、それなりに体力が必要ですが、美しい石畳や道沿いの町石や墓標など、旧街道の雰囲気をしっかり残した名コース。地権者による落書きが痛々しいコースでもあります。

## 概要

### 難易度 (5段階)

大曽根浦駅から八鬼山を経て三木里駅  
(尾鷲駅から歩くと、大曽根浦駅から歩くよりも2 kmほど距離が長くなります。)

### おすすめ 立ち寄り スポット

#### 熊野古道センター

2007年2月にオープンした施設。熊野古道に関する展示は一見の価値あり。東紀州や熊野古道に関するいろんな情報も手に入ります。

#### 三木里海水浴場

三木里にある美しい砂浜の広がる海水浴場。夏場は海水浴客で賑わう。八鬼山から降りてきて国道311号に合流したところ。

#### さんさ茶屋

三木里地区の人たちが週末に開いている茶屋。郷土料理をちょっとつまみながら休憩するのにピッタリ。三木里駅のすぐ近く、古い道標から海岸寄り。

### 交通 アクセス

<JR>

尾鷲駅（普通 5分） 大曽根浦駅（普通 15分） 三木里駅

<三交バス>

古道センター前：熊野古道センター入り口。「松本線」又は「南紀特急」

向井：登り口近く。「松本線」

大曽根浦駅前：JR大曽根浦駅前。「松本線」

三木里駅前：JR三木里駅前

三木里側の路線バス「輪内線」は、尾鷲駅方面には行きません。